

相模湾沿岸（荒崎）で見られる生き物

1 荒崎

自然環境の特徴

荒崎公園は、外周 3 分の 2 が海に面しています。園内の樹林地には常緑樹主体の自然植生が残されており、沿岸部には自然が創造した美しい岩場が続いています。三浦半島屈指の景観が楽しめることから、「かながわの景勝 50 選」に選ばれており、ハイキングコースも整備されています。

植物

市内ではもっとも多くの海岸植物が見られます。また、貴重な海岸植物の主な生育地になっています。特に長浜から荒崎公園の遊歩道で多くの海岸植物が見られます。

春から夏にかけてはハマダイコン、ハマヒルガオ、ヒロハクサフジ、ハマゴウ、スカシユリなどの花が、夏から秋にかけてはイワダレソウなどの花が、秋にはイソギク、ツワブキ、ワダンなどの花が見られます。

ヒロハクサフジ



ハマゴウ



ソナレムグラ



ワダン



ハチジョウナ



ハマアキノキリンソウ



クサスギカズラ



昆虫

荒崎公園内には、樹林地、草地、松林、岩礁、砂浜など多くの環境を有することから、それぞれの場所で異なる種の昆虫をみることができます。

アカタテハ



ルリタテハ



コアオハナムグリ



ウバタマムシ



アオスジアゲハ



ハグロハバチ



水生生物

泥岩質の岩場が続いており、潮だまりなどで水生生物を見ることができます。しかし、魚類は、満潮時以外、あまりみられません。

※岩場（泥岩質の岩）は滑りやすいので観察には注意が必要です。

イソスズメダイ（幼魚）



シマスズメダイ（幼魚）



イボタマキビ、アラレタマキビ

